



明新館通信



イメージキャラクター
「めいのすけ」

平成29年度
第5号(通巻119号)
山形県立上山明新館高等学校
山形県上市市仙石650番地
TEL 023(672)1700
平成29年9月26日(火)発行

日日新 又日新 (日日新たに又日に新たなれ)

<行事予定>

<10月>

- 1日(日)
- 2日(月) 中間テスト1日目
マ-アップ運動
(~10/10)
- 3日(火) 中間テスト2日目
- 4日(水) 中間テスト3日目
- 5日(木) 演劇教室
- 6日(金) 各種委員会①(鑑)
英語検定②
- 7日(土)
- 8日(日)
- 9日(月) 体育の日
- 10日(火) 月曜日の時間割
各種委員会②(鑑)
進路希望調査②
- 11日(水) 専門学科イマ-アップ
(~10/13)
- 12日(木) SC⑬
- 13日(金)
- 14日(土) 中学生体験入学
3年記述模試
- 15日(日)
- 16日(月) 代休(10/14分)
3年記述・読劇
- 17日(火) 薬物防犯講話
- 18日(水) 分掌課会
- 19日(木) 1年進路トップセミナー
- 20日(金)
- 21日(土) 春高バレー県予選
- 22日(日) 春高バレー県予選
- 23日(月) 短縮45分授業
防災避難訓練
献血(午前)
- 24日(火) 職員研修会
- 25日(水) 職員会議
- 26日(木) 1年進路ガイダンス②
SC⑭
- 27日(金) 2年外部模試
食料生産科収穫感謝祭
- 28日(土) 1・2年外部模試
バスケ大会開催
- 29日(日) バスケ大会開催
- 30日(月)
- 31日(火)

最高に“熱い”夏だった！！

れいめいさい 麗明祭(学校祭)大成功！！ 情熱と創意を發揮！！

テーマ：BLUE SPRING

～ 灰になるまでHighになれ～

8月25日(金)と26日(土)に、本校の学校祭「麗明祭(れいめいさい)」が行われました(25日：ステージ発表、26日：一般公開)。今年のテーマは、「BLUE SPRING ～灰になるまでHighになれ～」。

明新生の情熱と創意が大いに發揮され、テーマの通り、燃えに燃えた二日間となりました。



ステージ発表 吹奏楽部は次の日も中庭で演奏を披露(25日)



ステージ発表 ダンスが今年もステージを盛り上げた(25日)



祭りを支えた実行委員長(船田彩花、右)と副委員長(鹿納彩夏、左)



1年生は「かかし」を製作・展示 後日「全国かかし祭り」に出展



演劇部の公演 前日のステージ発表とは別の演目(26日)



文化部や委員会が普段の活動の成果を披露・発表(左:読・茶会 右:新・イヌ博 26日)



2年生は各クラスで創意ある企画(左:5組のおぼけ屋敷、右:1組の巨大迷路 26日)



3年生は各クラスが模擬店を出して楽しくにぎやかに(左:1組、右:5組 26日)



エンディング くす玉割れたか垂れ幕が…(26日)

村山地区高校新人大会・山形県高校新人大会(陸上)の主な結果

9月9日(土)、10日(日)を中心に、村山地区高等学校新人大会が行われました。以下は、県大会出場を果たした、部・個人の主な結果です(バレーボール部とバスケットボール部の地区大会は、11月に行われます)。

【弓道部男子】団体第2位、個人第2位藤本雅己(2年) 【弓道部女子】団体県大会出場、個人第2位今田梓(2年) 【ソフトテニス部女子】団体第3位、個人3組県大会出場 【ソフトテニス部男子】個人4組県大会出場 【ハンドボール部女子】第3位 【ハンドボール部男子】県大会出場 【レスリング部】男子団体第3位、男子個人120Kg級第2位山川凌平(2年)、66kg級第3位永沼隼汰(2年)、60kg級第3位渡部温生(2年) 【新体操部】団体県大会出場、個人総合2名県大会出場 【女子ソフトボール部】県大会出場 【バドミントン部女子】団体県大会出場、個人ダブルス1組県大会出場 【卓球部女子】団体県大会出場 【校外活動・水泳】男子200m個人メドレー第2位・400m個人メドレー第3位志田開(2年)、100m自由形第6位・50m自由形第8位村上一颯

【陸上競技部、県高校新人大会】女子棒高跳び第2位片桐結花(2年)、女子5000m競歩第3位清水ななみ(2年)、女子ハンマー投げ第4位佐藤緋音(2年)、女子三段跳び第4位渡邊優里(2年)、以上4名東北大会出場

南東北インターハイ終了

多くの明新生が役割を果たして成功を支える

今年のインターハイ（全国高等学校総合体育大会）は、山形県（幹事県）・宮城県・福島県の南東北三県で開催されました。幹事県である本県では、総合開会式が開催され、9競技10種目で、各都道府県の大会を勝ち抜いた選手が集まり、競い合いました。

本校からは、選手として山川凌平くんがレスリング競技120kg級に、土田星李（あかり）さんが体操競技女子個人総合に出場しました。残念ながら、二人とも、上位進出はかないませんでした。全国的強豪と競った経験は、貴重であり、今後の成長につながるものと思われます。

補助員等としては260人を超える生徒が、また、運営役員等として40人を超える教員が、今大会に関わり、運営・進行を支えました。

7月28日（金）に、総合開会式が、山形県総合運動公園総合体育館（天童市）で行われました。当日、会場前に設置された「シンボルマーク」に使われた花（1800本のニチニチソウ）は、すべて本校の食料生産科が育てて、会場に運び、備え付けたものです。また、開会式における公開演技では、本校邦楽部の生徒が琴を演奏し、山形学院高校ハンドベル部、山形西高校新体操部とのコラボレーションで、幻想的な演舞の披露を行いました。

上山市では、レスリング競技が、7月30日（日）～8月2日（水）、三友エンジニア体育文化センターを会場に行われ、本校の生徒162人が補助員等として、連日活動し、競技の進行・運営を支えました。

レスリング競技以外にも、陸上競技部、新体操部、男・女バレーボール部、ソフトボール部の各部員が、それぞれの競技会場で補助員等を務めました。また、4人の生徒が山形駅で総合案内を担当、さらに、「高校生活活動推進委員」として奥山友里さん（本校委員長、3年）をはじめ5人の生徒が活躍するなど、実に多くの明新生が今大会に関わり、役割を果たし、大会の成功を支えました。



今大会の「シンボルマーク」本校で育てたニチニチソウの花で飾られている



総合開会式での幻想的な演舞 邦楽部の生徒が琴を演奏



レスリング競技 多くの明新生が進行・運営を支えた

国際交流の夏

- ☆ 3年生2人がドイツ ドナウエッシンゲン市を訪問
- ☆ カーティフ大学(伴大)で学ぶ6人の若者が本校を訪問



7月27日（木）～8月9日（水）、本校3年生の丹野颯一郎さんと設楽実玖さんが、「上山市学生訪問団（ドナウエッシンゲン市訪問）交流事業」に参加し、上山市の海外友好都市である、ドイツ連邦共和国ドナウエッシンゲン市を訪問しました。10日間のホームステイを中心とする訪問は、二人にとって、現地の人々との交流を深め、異文化を体験し、大きく視野を広げる、貴重な体験となったようです（左上の写真、向かって左から4人目丹野くん、5人目設楽さん）。

7月31日（月）の午後、イギリスのカーティフ大学で学ぶ6人の外国人青年が本校を訪問。英会話部の生徒たちと交流の時間をすごしました。英会話部の生徒たちは、本校の紹介をしたあと、あやとり、折り紙、書道と、日本の文化を紹介し、教えながら、会話をし、訪問した若者たちとともに、交流の時間を楽しみました。書道のときには、書道部の生徒が手ほどきのために加わり、最後には自分の名前を書いたうちわを持ち帰ってもらいました。



文化を紹介し、教えながら、会話をし、訪問した若者たちとともに、交流の時間を楽しみました。書道のときには、書道部の生徒が手ほどきのために加わり、最後には自分の名前を書いたうちわを持ち帰ってもらいました。



健闘をたたえる！！

- 〈女子バレーボール部〉
天皇杯・皇后杯
全日本バレーボール選手権
山形県ラウンド 準優勝
- 〈農業クラブ〉
東北大会
◇プロジェクト発表会
分野Ⅰ類 優秀賞
「届け！ Soybeans 赤道の彼方に～大豆の選抜育種でパプア州支援 part1～」
◇クラブ活動紹介発表会
優秀賞
「明新館 SMILE プロジェクト」～私たちにできること～
- 〈東南村地区英語弁論大会〉
高等学校部門 第2位
長濱 志穂（3年）